

MINI DISCLOSURE 2011.3

ミニディスクロージャー誌

第131期 営業のご報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日



CONTENTS

ごあいさつ	1
事業の概況	2
業容の推移	3
地域社会への貢献	4
中期経営計画	6
地域密着型金融の推進について	7
不良債権への取り組み	8
トピックス	9
連結財務諸表	10
財務諸表	12
株式のご案内・役員	14
株式の状況	15
店舗のご案内	16
店舗外現金自動設備のご案内	17

PROFILE (平成23年3月31日現在)

名称	株式会社 高知銀行 THE BANK OF KOCHI, LTD.
本店所在地	高知市堺町2番24号
創立	昭和5年1月
預金等	8,634億円
貸出金	6,437億円
資本金	195億44百万円
自己資本比率	10.72% (国内基準)
従業員数	937名
店舗数	71店
こうぎんグループ	株式会社 高銀ビジネス 高知市本町三丁目3番4号 オーシャンリース 株式会社 高知市堺町1番21号 JTB高知ビル3F 株式会社 高知カード 高知市本町四丁目2番40号 ニッセイ高知ビル7F

<http://www.kochi-bank.co.jp/>

E-mail: kouhou@kochi-bank.co.jp

ごあいさつ

このたびの東日本大震災により被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平素は、私ども高知銀行に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も、平成22年度のミニディスクロージャー誌（営業のご報告）を作成いたしました。当行の現況や活動内容をより一層ご理解いただくためのご参考になれば幸いに存じます。

当行は、創業以来、「地域の皆さまとともに歩み、地域とともに発展する銀行」を基本理念として、地域金融の円滑化と信頼される金融商品の提供に努めてまいりました。

これからも、皆さまのゆるぎない信頼を得られますよう、経営計画の実現に邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年6月
取締役頭取

伊野部重晃

● 経営理念

熱意

高知銀行は、限りない熱意をもって、地域の発展と暮らしの向上に貢献します。

調和

高知銀行は、調和のとれた経営をもって、お客さまの信頼に応えます。

誠実

高知銀行は、創意と誠実をもって、お客さまに奉仕します。



郷土高知を照らす太陽と、「熱意」の姿勢を赤に、
穏やかにそびえる山々と、「調和」への願いを緑に、
躍る黒潮と、「誠実」の精神を青にたとえて。

高知銀行のシンボルマークは「ビビッドK」。
右上の赤は地域の皆さまを、
右下の緑は地元企業の皆さまを、
そして、それぞれのニーズを受け止める
高知銀行を左の青で表しています。

事業の概況～事業の経過および成果等

■ 金融経済環境

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）におけるわが国の経済は、輸出の増加と政府の経済対策効果から、持ち直しに向けた動きが広がりましたが、後半にかけ、海外経済の回復が緩やかになり、また、円高によるデフレ圧力が強まるなど、不透明感が継続する状況となりました。さらに3月11日に発生した東日本大震災以降、生産や消費に停滞の動きが見られました。

当行が主要経営基盤としている高知県の経済は、観光関連や製造業の一部で持ち直しの動きがありましたが、消費や雇用環境は依然厳しい状況が続いており、停滞感が払拭できない状況が続きました。

■ 事業の経過および成果

厳しい経済環境が続く中、当行は、株主の皆さまとお取引先の方強いご支援のもと、全役職員が一致協力して地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質改善強化に努めた結果、次のとおりの業績を収めることができました。

預金は、期中30億円増加して、期末残高は8,634億円（前期末比0.3%増）となりました。

一方、貸出金は、資金需要が弱かったこともあって、期中114億円減少し、6,437億円（前期末比1.7%減）となりました。

また、有価証券は期中146億円増加して、期末残高は2,455億円（前期末比6.3%増）となりました。

損益面では、経常収益が前期より減少したものの経費削減等により経常費用が減少したことから、経常利益が26億62百万円、当期純利益が21億93百万円となりました。

■ 当行が対処すべき課題

当行および当行グループの重要な経営課題は「収益力の強化」と「資産の健全化」であると認識し、「収益力の強化」の実現のためにトップライン収益の向上や経費削減の徹底に努めるとともに、「資産の健全化」の実現のために良質な貸出資産の増強や経営改善支援活動の強化に継続して取り組んでおります。

引き続き、当行の主要お取引先であります地域中小企業等の皆さまへの安定的かつ円滑な資金供給に努めるとともに、金融市場を取り巻く環境が変化した場合でも安定した収益があげられるよう、信用リスク管理態勢および市場リスク管理態勢の一層の強化に取り組んでまいります。

また、役職員一同が地域金融機関として求められている金融

仲介機能を着実に果たし、地域経済の発展に貢献していくとともに、コンプライアンスの徹底とリスク管理態勢の強化等により経営の健全性および透明性を確保してまいります。

今後も「地域の皆さまのお役に立つ銀行」として、持続的な地域との共存を実現していきたいと考えております。

■ 利益配分に関する方針

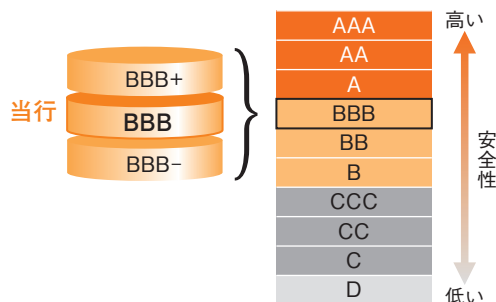
当行は、地域金融機関として公共的、社会的使命を果たすため、安定的な経営基盤の確保と健全な財務体質への強化を図るとともに、配当につきましては、フローの利益とストックの内部留保に応じ、弾力的に配分する方針としております。当期の配当につきましては、1株当たり2円50銭の配当とさせていただきます。また、第1種優先株式は、定款および発行要項の定めに従いまして、所定の1株当たり3円36銭4厘とさせていただきます。

なお、平成24年3月期の剰余金の配当につきましては、期末に1株当たり2円50銭の配当とさせていただくことを予定しております。

■ 格付

高知銀行は、株式会社日本格付研究所（JCR）からの長期優先債務格付で「BBB」（トリプルB）の格付けを取得しております。

（平成23年3月31日現在）



※格付けは、利害関係のない格付け機関が企業の財務内容等を客観的に評価し、わかりやすく記号で表したものです。

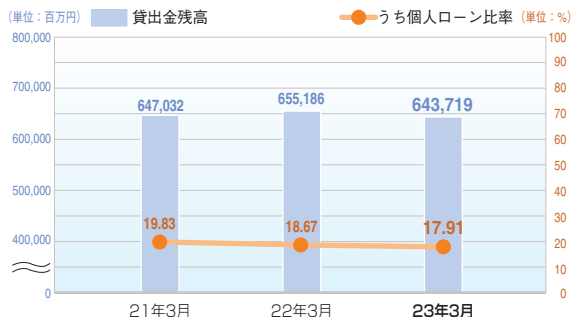
※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があります。

業容の推移

こうぎんは、地域の皆さまにとって「役に立ち信頼される銀行」を目指しています。

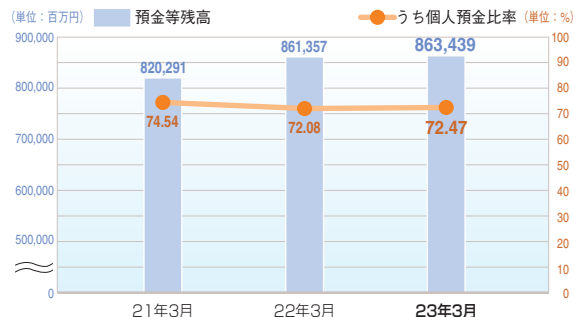
■ 貸出金

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要に積極的にお応えするなど、貸出金の増強に努めてまいりましたが、資金需要が弱かったこともあって、貸出金残高は前年同期末比114億円減少して6,437億円となりました。



■ 預金等 (譲渡性預金含む)

個人預金、公金預金が増加したことから、預金等の残高は8,634億円となりました。

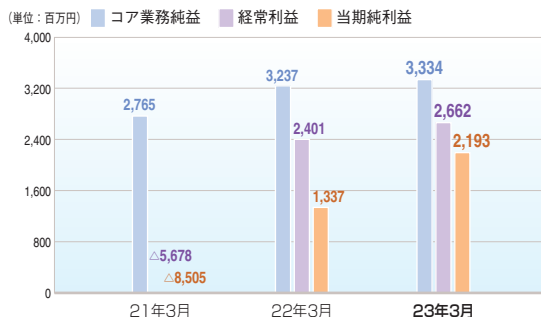


■ コア業務純益・経常利益・当期純利益

地域に密着した営業活動を展開するとともに、経費削減等の効率化にも注力した結果、コア業務純益は33億34百万円、経常利益は26億62百万円、当期純利益は21億93百万円となりました。

〔コア業務純益〕

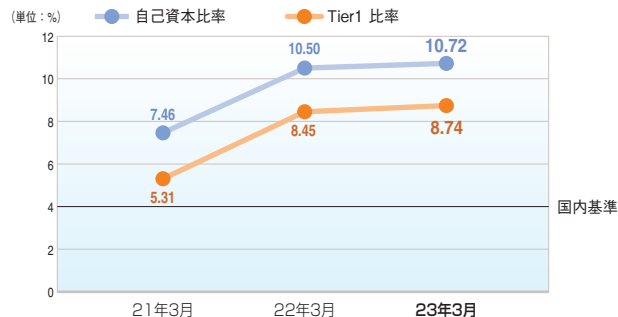
コア業務純益とは、資金の運用収支、手数料等の収支、外国為替や債券等の売買の損益等の利益から債券にかかる損益と経費を差し引いて算出される利益で「銀行の本業での業績を表す指標」といわれています。



■ 自己資本比率

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は10.72%、Tier 1 比率は8.74%となっております。

※Tier 1 比率とは、資本金・剰余金など本来の自己資本のみで算出した自己資本比率です。



地域社会への貢献

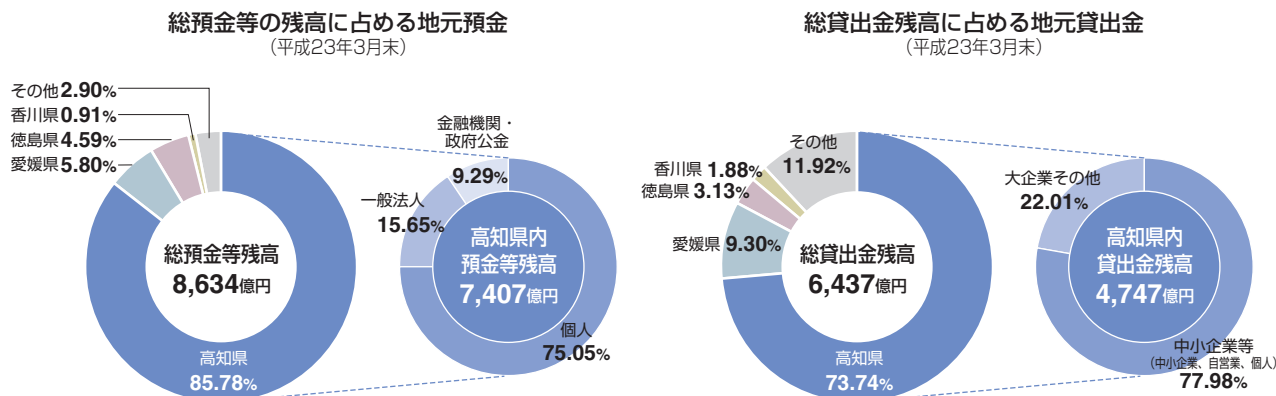
地域金融機関である当行の使命は、地域金融の円滑化と信頼される金融商品の提供にあると考えています。

平成23年3月末の高知県内向け貸出金は4,747億円で、当行の貸出金全体の73.74%を占め、また、当行の貸出金の75.35%は中小企業や個人のお客さまへのご融資となっております。

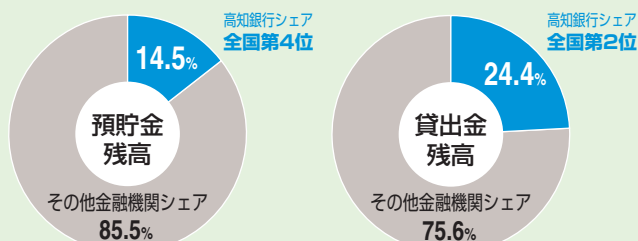
預金につきましても、当行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。

これからも、地域に根ざした金融機関として、地域社会の発展に貢献し、お客さまそれぞれのニーズにお応えできる金融機関を目指してまいります。

■ 高知県内における預金・貸出金



地元における「預貯金・貸出金」シェア (平成22年3月末)

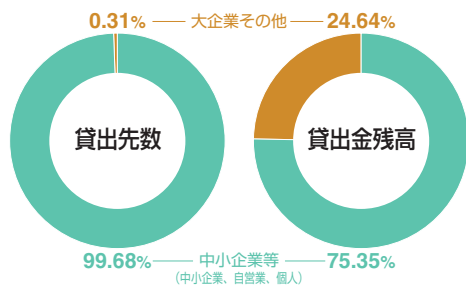


「第二地銀の地元におけるシェア」におきまして、高知銀行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。

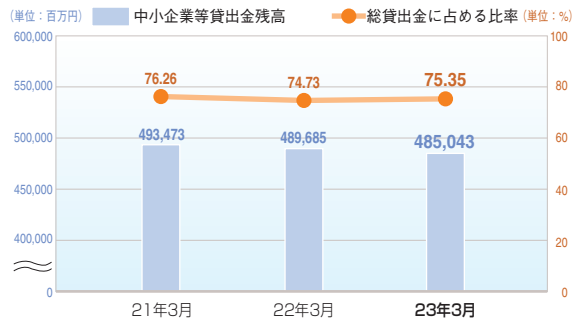
- 高知県内の計数を対象としています。その他金融機関には、大手銀行など、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、ゆうちょ銀行を含みます。
- 月刊金融ジャーナル増刊号金融マップ2011年版調べ

■ 中小企業等に対する貸出金

中小企業等に対する貸出金の割合
(平成23年3月末)

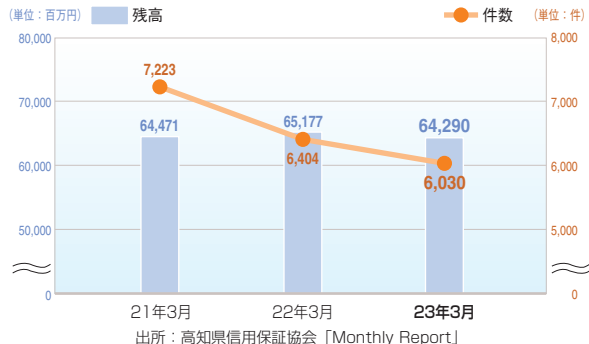


中小企業等に対する貸出金残高の推移



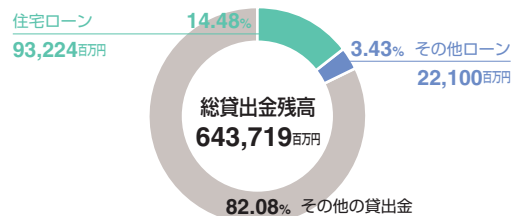
■ 信用保証協会保証付融資

高知県信用保証協会保証債務残高における当行の残高・件数推移

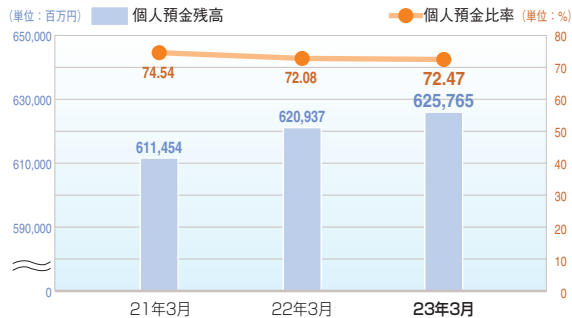


■ 個人向け貸出

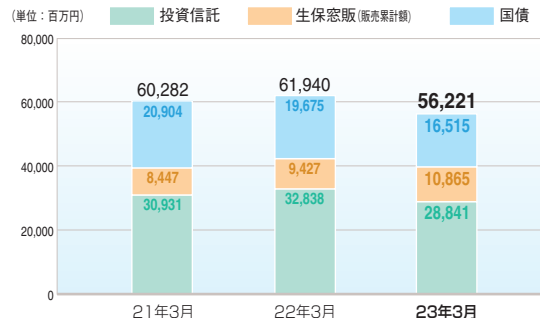
消費者ローン(住宅ローン・その他ローン)残高の総貸出金に占める比率
(平成23年3月末)



■ 個人預金の推移



■ 預り資産の推移



中期経営計画（第二次こうぎん維新）

～未来へ向けた改革～ 明日を元気に！ビビッドバンク

計画期間 平成21年10月～平成24年3月

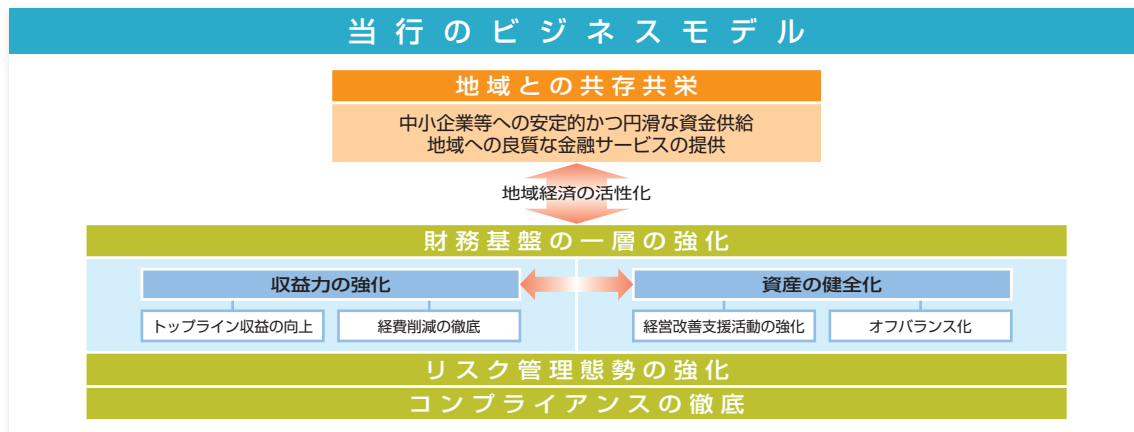
経営目標

- ～「地域密着型リテールバンク」としてのバリューアップに向けて
- ☆お客さまにとって・・・役に立ち信頼される銀行
 - ☆株主にとって・・・格付け評価が高く信認の厚い銀行
 - ☆地域社会にとって・・・使命を果たし発展に貢献できる銀行
 - ☆職員にとって・・・魅力的で夢と希望を実現できる銀行

経営基本方針

- ※高収益構造への転換
経営の効率化と資産の健全化を進め高収益構造への転換を図る
- ※経営力の強化
リスク管理と内部統制態勢の高度化を進め経営力を強化する
- ※地域貢献力の向上 ⇔ 地域密着型金融の推進
地域金融機関としての社会的責任を果たすため地域貢献力を高める

当行のビジネスモデル



■主要計数目標と実績

(単位：百万円)

		21年3月期	21年9月期	22年3月期	22年9月期	23年3月期	23年9月期	24年3月期
コア業務純益	計画	—	—	2,575	1,511	3,047	1,945	3,920
	実績	2,765	1,842	2,635	1,531	3,334		
	計画対比	—	—	60	20	287		

※コア業務純益（業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益）

(単位：%)

		21年3月期	21年9月期	22年3月期	22年9月期	23年3月期	23年9月期	24年3月期
業務粗利益経費率	計画	—	—	67.22	69.73	69.50	65.64	65.38
	実績	72.63	60.28	64.82	66.35	63.63		
	計画対比	—	—	△2.40	△3.38	△5.87		

※業務粗利益経費率（（経費－機械化関連費用）÷業務粗利益）

地域密着型金融の推進について

当行は、地域密着型金融を推進し、地域に根ざした金融機関として、地域のお客さまそれぞれのニーズにあった施策を着実に進め、「持続的な地域貢献」を果たしてまいります。

重点項目

- ◎ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
- ◎事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- ◎地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

平成22年度の取り組み実績

項目	実績
経営改善支援の取り組み（ランクアップ）	12先
再生計画の策定	15先
中小企業再生支援協議会への持ち込み	11先
年金相談会の開催	13回
税務相談会の開催	12回
金融教室の開催	「こども金融・科学教室」を開催（平成22年7月）
ビジネスマッチングへの取り組み	「食の大商談会 2010」を開催（平成22年11月）

平成22年度中の融資実績	件数	金額
創業・新事業開拓支援	68件	1,288百万円
動産・債権譲渡担保	30件	325百万円

金融円滑化に向けた取り組み

■ 貸付けの条件の変更等の実施状況

平成21年12月4日に施行されました「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の第4条および第5条に基づく貸付けの条件の変更等について、平成21年12月4日から平成23年3月末までの実施状況は以下のとおりです。

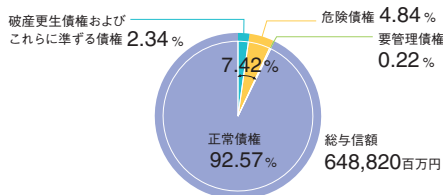
（単位：件・百万円）

	申込み		実行		謝絶		審査中		取下げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中小企業のお客さま	3,635	88,550	3,186	77,812	150	3,050	116	3,173	183	4,513
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権	1,636	60,955	1,430	53,520	83	2,087	60	1,966	63	3,380
住宅資金借入れのお客さま	362	4,105	219	2,406	77	991	11	110	55	596

不良債権への取り組み

当行は、不良債権発生時の未然防止に努めるとともに企業再生支援の取り組みを強化し、資産の健全性維持に注力しております。また、「格付・自己査定システム」を導入し、信用変化の都度査定する随時査定方式により個別に査定し、厳正に貸倒引当処理を行う一方、担保処分や貸出債権売却等の不良債権の最終処理にも努めております。なお、当行は部分直接償却を実施しておりません。

「金融再生法開示基準に基づく債権」の総与信額に占める割合（平成23年3月末）



金融再生法に基づく開示債権（単体）の推移

（単位：百万円）

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	15,445	16,043	15,233
危険債権	32,168	28,387	31,440
要管理債権	3,310	1,615	1,485
小計	50,923	46,046	48,159
正常債権	602,493	615,097	600,660
合計	653,417	661,144	648,820
総与信残高に占める割合	7.79%	6.96%	7.42%
保全率	85.67%	86.39%	84.37%

自己査定

対象債権
貸出金、外国為替、仮払金、支払承諾見返、金融機関保証付私募債、未収利息
破綻先債権 (6,407)
実質破綻先債権 (8,825)
破綻懸念先債権 (31,440)
要管理先債権 (2,046)
その他要注意先債権 (120,272)
正常先債権 (407,342)

金融再生法開示基準に基づく債権

対象債権	保全率
貸出金、外国為替、仮払金、支払承諾見返、金融機関保証付私募債、未収利息	
破産更生債権およびこれらに準ずる債権 (15,233)	100%
危険債権 (31,440)	78.27%
要管理債権 (1,485)	53.10%
小計 (48,159)	小計84.37%
正常債権 (600,660)	

（注）
「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」（金融再生法）では、開示基準の対象を貸出金だけでなく、支払承諾見返や金融機関保証付私募債等を含む総与信としております（ただし、要管理債権は貸出金に限定）。また、財務内容を踏まえた債務者単位で分類しております。

リスク管理債権

対象債権
貸出金（破綻先債権・延滞債権は未収利息不計上）
破綻先債権 (6,359)
延滞債権 (39,866)
3か月以上延滞債権 (なし)
貸出条件緩和債権 (1,485)
合計 (47,711)

（注）
破綻先債権、延滞債権については、自己査定区分で破綻懸念先以下に区分した債務者に係る全貸出金を、担保保全の状況如何にかかわらず開示しております。
リスク管理債権の貸出金残高に占める割合は7.41%ですが、これらの債権の84.34%を担保・保証等や貸倒引当金で保全しております。

平成23年3月末（単位：百万円）

●破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

●危険債権

債務者が経営破綻状態にいたっていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取ができない可能性の高い債権

●要管理債権

自己査定区分による「要注意先」のうち、

「3か月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」

●正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権

●破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出

金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金

●延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金

●3か月以上延滞債権

元金又は利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3か月以上遅延している貸出金で、破綻先債権および延滞債権に該当しない貸出金

●貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権および3か月以上延滞債権に該当しない貸出金

トピックス

『こうぎん・ビビッド・ファンド』の取り扱い開始

当行は、地域の成長基盤強化に向けた取り組みの一環として、成長分野に取り組むお客さまを支援するため、ファンド総額100億円の「こうぎん・ビビッド・ファンド」を新設いたしました。

対象分野は農商工連携事業や食品加工・製造関連事業などの8分野で、ご融資金額は1,000万円以上、取扱期間は平成24年3月までとなっております。

本ファンドの活用を通じて、地域経済の発展をサポートしてまいります。

こどもサッカー教室を開催

当行は、地域のこどもたちを対象に、競技の普及やジュニア育成を通じて地域のスポーツ振興に貢献していくことを目的として、高知大学との合同による「こどもサッカー教室」を開催いたしました。



として、高知大学との合同による「こどもサッカー教室」を開催いたしました。

次世代育成支援

当行は、次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組む企業に対する認定制度「基準適合一般事業主」の2回目の認定を高知労働局より受けました（2010年認定事業主）。

次世代法では、次の世代を担うこどもたちが健やかに生まれ育つ社会を形成するために、安心して出産と子育てができる職場環境の整備を事業者に対して求めており、当行はこれからも、職員が能力を十分に発揮しながら、仕事と子育ての両立を図ることができるような職場環境の整備を進めてまいります。



エコ住宅ローンの取り扱い開始

当行は、太陽光発電等各種省エネ設備を備え環境に配慮した住宅の新築・増改築・借り換え等にご利用いただける「エコ住宅ローン」を発売いたしました。

この商品は、最終ご返済日にいたるまでのご融資期間中、当行の住宅ローン基準金利より引下げた金利を適用させていただきます。



食をテーマとした商談会を開催

当行は、高知県、一般財団法人高知県地産外商公社、株式会社四国銀行との合同による「食の大商談会2010」を11月25日と26日の二日間にわたって開催いたしました。これは、高知県産業振興計画の取り組みの柱である地産地消・地産外商戦略を推し進めることを目的に、官民4者が相互に連携し開催に至ったものです。

当行はこれまでに2回「高知の食を元気にする商談会 うまい国土佐」を開催してまいりましたが、今回は合同商談会となったことから、出店事業者は94社、仕入れ業者は102社とほぼ倍増し、スケールメリットの効果も期待できる商談会となりました。



連結財務諸表

■ 第131期末連結貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
現金預け金	38,916	預金	862,708
コールローン及び買入手形	2,000	借入金	6,974
商品有価証券	1,117	外国為替	0
金銭の信託	1,098	社債	4,300
有価証券	245,328	その他負債	8,955
貸出金	641,075	賞与引当金	240
外国為替	669	退職給付引当金	3,401
リース債権及びリース投資資産	6,444	役員退職慰労引当金	5
その他資産	7,458	睡眠預金払戻損失引当金	179
有形固定資産	15,291	再評価に係る繰延税金負債	2,409
建物	3,171	負ののれん	239
土地	10,833	支払承諾	3,456
リース資産	21	負債の部合計	892,871
建設仮勘定	216	純資産の部	
その他の有形固定資産	1,048	資本金	19,544
無形固定資産	1,554	資本剰余金	16,746
ソフトウェア	545	利益剰余金	8,793
その他の無形固定資産	1,008	自己株式	△220
繰延税金資産	3,827	【株主資本合計】	44,864
支払承諾見返	3,456	その他有価証券評価差額金	864
貸倒引当金	△24,661	土地再評価差額金	3,051
		【その他の包括利益累計額合計】	3,916
		新株予約権	27
		少数株主持分	1,897
		純資産の部合計	50,706
資産の部合計	943,578	負債及び純資産の部合計	943,578

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第131期連結包括利益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
少数株主損益調整前当期純利益	2,523
その他の包括利益	△77
その他有価証券評価差額金	△77
包括利益	2,446
親会社株主に係る包括利益	2,249
少数株主に係る包括利益	196

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第131期連結損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	26,342
資金運用収益	17,882
貸出金利息	14,470
有価証券利息配当金	3,355
コールローン利息及び買入手形利息	3
預け金利息	39
その他の受入利息	13
役務取引等収益	1,832
その他業務収益	6,467
その他経常収益	160
経常費用	23,204
資金調達費用	2,299
預金利息	2,087
譲渡性預金利息	5
借入金利息	61
社債利息	144
その他の支払利息	0
役務取引等費用	1,589
その他業務費用	4,579
営業経費	12,590
その他経常費用	2,145
貸倒引当金繰入額	1,664
その他の経常費用	481
経常利益	3,137
特別利益	95
固定資産処分益	88
償却債権取立益	6
特別損失	453
固定資産処分損	44
減損損失	405
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4
税金等調整前当期純利益	2,779
法人税、住民税及び事業税	215
法人税等調整額	40
法人税等合計	255
少数株主損益調整前当期純利益	2,523
少数株主利益	200
当期純利益	2,323

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第131期連結株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
株主資本	
資本金	
前期末残高	19,544
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	19,544
資本剰余金	
前期末残高	16,749
当期変動額	
自己株式の処分	△2
当期変動額合計	△2
当期末残高	16,746
利益剰余金	
前期末残高	6,487
当期変動額	
剰余金の配当	△318
当期純利益	2,323
土地再評価差額金の取崩	301
当期変動額合計	2,305
当期末残高	8,793
自己株式	
前期末残高	△224
当期変動額	
自己株式の取得	△0
自己株式の処分	5
当期変動額合計	4
当期末残高	△220
株主資本合計	
前期末残高	42,556
当期変動額	
剰余金の配当	△318
当期純利益	2,323
自己株式の取得	△0
自己株式の処分	3
土地再評価差額金の取崩	301
当期変動額合計	2,308
当期末残高	44,864

科 目	金 額
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	938
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△74
当期変動額合計	△74
当期末残高	864
土地再評価差額金	
前期末残高	3,353
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△301
当期変動額合計	△301
当期末残高	3,051
その他の包括利益累計額合計	
前期末残高	4,292
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△375
当期変動額合計	△375
当期末残高	3,916
新株予約権	
前期末残高	20
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6
当期変動額合計	6
当期末残高	27
少数株主持分	
前期末残高	1,701
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	195
当期変動額合計	195
当期末残高	1,897
純資産合計	
前期末残高	48,571
当期変動額	
剰余金の配当	△318
当期純利益	2,323
自己株式の取得	△0
自己株式の処分	3
土地再評価差額金の取崩	301
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△173
当期変動額合計	2,134
当期末残高	50,706

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

■ 第131期末貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
現金預け金	38,136	預金	863,439
現金	13,709	当座預金	28,987
預け金	24,426	普通預金	219,120
コールローン	2,000	貯蓄預金	9,772
商品有価証券	1,117	通知預金	749
商品国債	1,117	定期預金	590,967
金銭の信託	1,098	定期積金	10,370
有価証券	245,501	その他の預金	3,471
国債	94,034	借入金	3,427
地方債	17,039	借入金	3,427
短期社債	1,999	外国為替	0
社債	94,280	売渡外国為替	0
株式	6,602	社債	4,300
その他の証券	31,545	その他負債	7,444
貸出金	643,719	未払法人税等	88
割引手形	8,581	未払費用	2,259
手形貸付	34,783	前受収益	528
証書貸付	532,981	給付補てん備金	20
当座貸越	67,373	金融派生商品	112
外国為替	669	リース債務	198
外国他店預け	366	資産除去債務	10
買入外国為替	3	その他の負債	4,225
取立外国為替	299	賞与引当金	233
その他資産	4,019	退職給付引当金	3,369
前払費用	56	睡眠預金払戻損失引当金	179
未収収益	1,168	再評価に係る繰延税金負債	2,409
金融派生商品	10	支払承諾	3,456
社債発行費	20	負債の部合計	888,259
その他の資産	2,762	純資産の部	
有形固定資産	15,121	資本金	19,544
建物	3,167	資本剰余金	16,746
土地	10,823	資本準備金	11,751
リース資産	189	その他資本剰余金	4,995
建設仮勘定	216	利益剰余金	7,744
その他の有形固定資産	724	利益準備金	126
無形固定資産	1,541	その他利益剰余金	7,618
ソフトウェア	537	圧縮記帳積立金	203
その他の無形固定資産	1,004	繰越利益剰余金	7,414
繰延税金資産	3,672	自己株式	△220
支払承諾見返	3,456	【株主資本合計】	43,815
貸倒引当金	△24,038	その他有価証券評価差額金	861
		土地再評価差額金	3,051
		【評価・換算差額等合計】	3,913
		新株予約権	27
		純資産の部合計	47,756
資産の部合計	936,015	負債及び純資産の部合計	936,015

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第131期損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	20,833
資金運用収益	17,741
貸出金利息	14,331
有価証券利息配当金	3,353
コールローン利息	3
預け金利息	39
その他の受入利息	13
役務取引等収益	1,577
受入為替手数料	700
その他の役務収益	876
その他業務収益	1,369
外国為替売買益	14
商品有価証券売買益	7
国債等債券売却益	1,185
国債等債券償還益	153
金融派生商品収益	8
その他の業務収益	0
その他経常収益	144
株式等売却益	5
その他の経常収益	139
経常費用	18,170
資金調達費用	2,243
預金利息	2,087
譲渡性預金利息	5
借入金利息	5
社債利息	144
役務取引等費用	1,423
支払為替手数料	118
その他の役務費用	1,305
その他業務費用	52
国債等債券売却損	48
社債発行費償却	3
営業経費	12,344
その他経常費用	2,106
貸倒引当金繰入額	1,649
株式等売却損	101
株式等償却	213
金銭の信託運用損	19
その他の経常費用	122
経常利益	2,662
特別利益	95
固定資産処分益	88
償却債権取立益	6
特別損失	438
固定資産処分損	29
減損損失	405
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4
税引前当期純利益	2,319
法人税、住民税及び事業税	25
法人税等調整額	101
法人税等合計	126
当期純利益	2,193

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第131期株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
株主資本	
資本金	
前期末残高	19,544
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	19,544
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	11,751
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	11,751
その他資本剰余金	
前期末残高	4,998
当期変動額	
自己株式の処分	△2
当期変動額合計	△2
当期末残高	4,995
資本剰余金合計	
前期末残高	16,749
当期変動額	
自己株式の処分	△2
当期変動額合計	△2
当期末残高	16,746
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	62
当期変動額	
剰余金の配当	63
当期変動額合計	63
当期末残高	126
その他利益剰余金	
圧縮記帳積立金	
前期末残高	203
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	203
繰越利益剰余金	
前期末残高	5,302
当期変動額	
剰余金の配当	△382
当期純利益	2,193
土地再評価差額金の取崩	301
当期変動額合計	2,111
当期末残高	7,414
利益剰余金合計	
前期末残高	5,568
当期変動額	
剰余金の配当	△318
当期純利益	2,193
土地再評価差額金の取崩	301
当期変動額合計	2,175
当期末残高	7,744

科 目	金 額
自己株式	
前期末残高	△224
当期変動額	
自己株式の取得	△0
自己株式の処分	5
当期変動額合計	4
当期末残高	△220
株主資本合計	
前期末残高	41,637
当期変動額	
剰余金の配当	△318
当期純利益	2,193
自己株式の取得	△0
自己株式の処分	3
土地再評価差額金の取崩	301
当期変動額合計	2,177
当期末残高	43,815
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	935
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△73
当期変動額合計	△73
当期末残高	861
土地再評価差額金	
前期末残高	3,353
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△301
当期変動額合計	△301
当期末残高	3,051
評価・換算差額等合計	
前期末残高	4,288
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△375
当期変動額合計	△375
当期末残高	3,913
新株予約権	
前期末残高	20
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6
当期変動額合計	6
当期末残高	27
純資産合計	
前期末残高	45,947
当期変動額	
剰余金の配当	△318
当期純利益	2,193
自己株式の取得	△0
自己株式の処分	3
土地再評価差額金の取崩	301
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△368
当期変動額合計	1,809
当期末残高	47,756

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式会社のご案内

1. 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

2. 配当金受領株主確定日

3月31日および中間配当を行うときは9月30日といたします。

3. 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

4. 基準日

毎年3月31日の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、定時株主総会において権利を行使することができる株主といたします。

その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

5. 単元株式数

単元株式数は1,000株であります。

6. 株主名簿管理人等

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 |
| (2) 株主名簿管理人事務取扱場所
郵便物の送付先 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社証券代行部
〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社証券代行部 |
| 電話照会先 | ☎ 0120-176-417 |

7. 公告方法

公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞および高知市において発行する高知新聞に掲載いたします。

なお、当行ホームページアドレスは
<http://www.kochi-bank.co.jp/>です。

8. 特別口座に関するお届出先およびご照会

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用していなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行に口座(「特別口座」といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

なお、証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社あてをお願いいたします。

役員 (平成23年3月31日現在)

(代表取締役) 取締役頭取	いのべ 伊野部	しげあきら 重 晃
(代表取締役) 専務取締役	もりした 森 下	かつひこ 勝 彦
常務取締役	つつみ 堤	としはる 俊 治
取 締 役	おかばやし 岡 林	ゆたか 豊
取 締 役	やまもと 山 本	さとし 聖
取 締 役	たなか 田 中	かつのり 克 典
取 締 役	ふくはら 福 原	かずひこ 和 彦
常勤監査役	たていわ 立 岩	こうじ 幸 二
常勤監査役	まつむら 松 村	たてし 健 司
監 査 役	まつもと 松 本	ひでまさ 秀 正
監 査 役	なかざわ 中 澤	まさあき 雅 昭

- (注) 1. 監査役立岩幸二、松本秀正および中澤雅昭の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
2. 社外監査役立岩幸二氏は、金融商品取引所の定めに基づき、独立役員として届け出ております。

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

普通株式

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	102,448,000株
株主数	7,773名
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	8416

第1種優先株式

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	75,000,000株
株主数	1名

■大株主の状況 (普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,662	4.61
高知銀行持株会	4,012	3.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,484	3.44
株式会社損害保険ジャパン	2,748	2.71
株式会社豊和銀行	1,474	1.45
株式会社アメリカン・クラブ・インターナショナル	1,177	1.16
株式会社近森産業	1,079	1.06
住友信託銀行株式会社	1,042	1.03
株式会社淀川製鋼所	926	0.91
株式会社筑波銀行	736	0.72

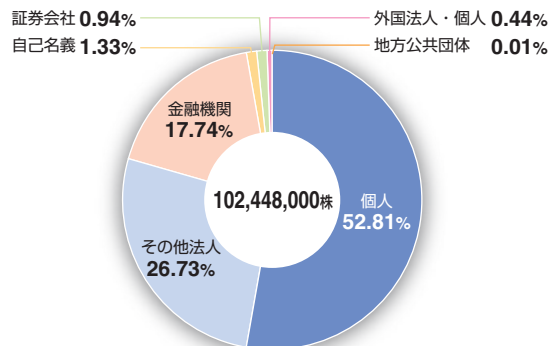
(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(1,357,820株)を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

■大株主の状況 (第1種優先株式)

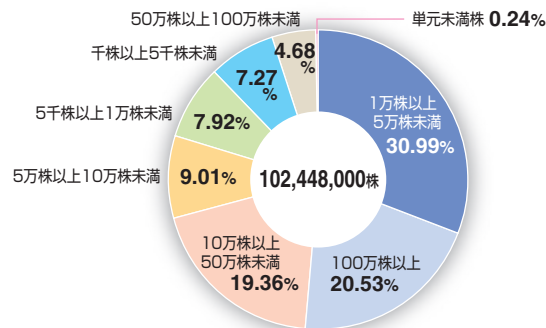
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	75,000	100

株式分布状況 (普通株式)

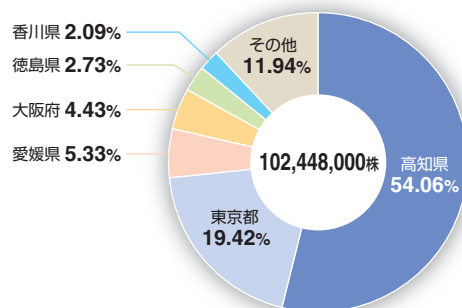
■所有者別分布



■所有株数別分布

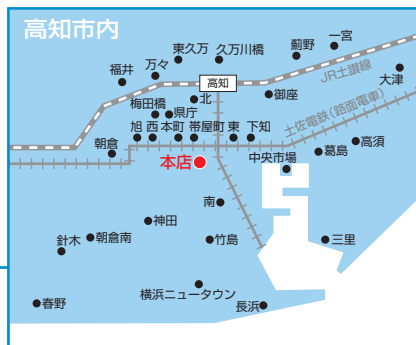
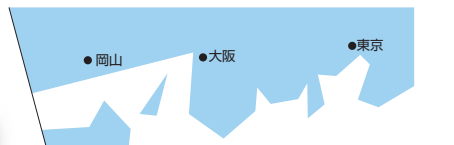
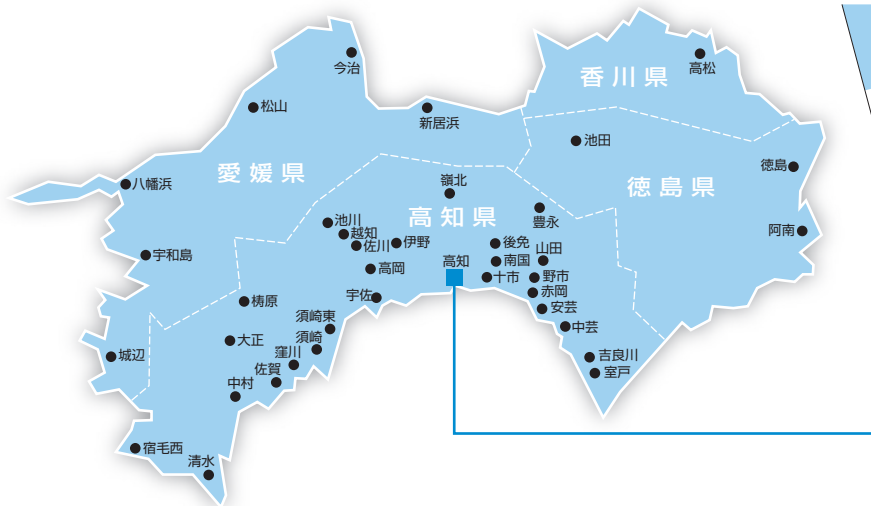


■地域別分布



店舗のご案内 (平成23年6月1日現在)

現金自動設備(ATM・CD)の営業日：●土曜日の稼働店 ●土曜日・日曜日・祝日の稼働店
 ※県庁支店・梶原支店・岡山支店・大阪支店・東京支店は現金自動設備を設置していません。



高知市

●本店営業部	088-822-9311
●東支店	088-883-4401
●西支店	088-822-8163
●南支店	088-831-5261
●北支店	088-822-5257
●本町支店	088-822-5251
※県庁支店	088-822-0118
●下知支店	088-882-5124
●中央市場支店	088-882-4880
●朝倉支店	088-844-2704
●長浜支店	088-842-2281
●万々支店	088-875-7201
●久万川橋支店	088-875-6251
●高須支店	088-882-8115
●一宮支店	088-845-5111
●竹島支店	088-831-7121
●帯屋町支店	088-824-6711
●旭支店	088-822-0251
●福井支店	088-825-2911

●三里支店	088-847-5341
●大津支店	088-866-4005
●薊野支店	088-845-9050
●朝倉南支店	088-844-5421
●梅田橋支店	088-824-7311
●神田支店	088-831-8220
●東久万支店	088-873-8221
●葛島支店	088-883-2511
●春野支店	088-894-2888
●御座支店	088-882-8411
●針木支店	088-840-6711
●横浜ニュータウン支店	088-842-4411

高知県東部

●室戸支店	0887-22-1520
●吉良川支店	0887-25-2211
●中芸支店	0887-38-4905
●安芸支店	0887-35-3141
●赤岡支店	0887-55-3101
●野市支店	0887-56-2105

●山田支店	0887-52-2171
●後免支店	088-863-2155
●南国支店	088-864-0551
●十市支店	088-865-5900
●豊永支店	0887-75-0231
●嶺北支店	0887-82-0461

高知県西部

●伊野支店	088-892-1262
●高岡支店	088-852-1131
●宇佐支店	088-856-1111
●佐川支店	0889-22-1151
●越知支店	0889-26-1151
●池川支店	0889-34-2316
●須崎支店	0889-42-2415
●須崎東支店	0889-43-1112
※梶原支店	0889-65-0186
●窪川支店	0880-22-1261
●大正支店	0880-27-0341
●佐賀支店	0880-55-2345

●中村支店	0880-34-3161
●清水支店	0880-82-0350
●宿毛西支店	0880-63-0770

高知県外

●徳島支店	088-653-6111
●阿南支店	0884-22-2704
●池田支店	0883-72-1125
●城辺支店	0895-72-1221
●宇和島支店	0895-22-5745
●八幡浜支店	0894-22-1820
●松山支店	089-921-5101
●今治支店	0898-32-4540
●新居浜支店	0897-33-5585
●高松支店	087-834-0111
※岡山支店	086-251-3301
※大阪支店	06-6531-2766
※東京支店	03-3865-1781

店舗外現金自動設備のご案内 (平成23年6月1日現在)

現金自動設備(ATM・CD)の営業日：●土曜日の稼働店 ●土曜日・日曜日の稼働店 ●土曜日・日曜日・祝日の稼働店

現金自動設備 の設置状況	本・支店		66カ所		122台	
	店	外	121カ所		126台	
	合	計	187カ所		248台	

所在地	設置場所
高知市	●青柳
//	●愛宕小橋
//	●イオンモール高知
//	●潮新町
//	●ヴェスタ桜井
//	●エヴィ土佐道路店
//	●エースワン神田店
//	●エーマックス一宮
//	●奥福井
//	●業務用食品スーパー朝倉
//	●業務用食品スーパー一宮
//	●介良
//	●県庁
//	●県庁西庁舎
//	●高知放送会館
//	●高知医療センター
//	●高知駅
//	●高知学園
//	●高知機械工業団地
//	●高知県警察本部庁舎
//	●高知市役所
//	●高知大学
//	●高知大丸
//	●高知リハビリテーション病院
//	●国病機構高知病院
//	●コープかもべ
//	●コープよしだ
//	●幸町スーパー
//	●サニーマーケット神田
//	●サニーマーケット瀬戸
//	●サニーマーケット高須
//	●サニーマーケット土佐道路東
//	●サニーマーケット中万々
//	●サニーマーケット六泉寺
//	●サンクス高知インター
//	●サンシャインヴィアン
//	●サンシャインクラージュ
//	●サンシャイン高須
//	●サンシャインベルティス
//	●サンブラザ新鮮館鴨部
//	●サンブラザ塚ノ原

所在地	設置場所
高知市	●食品工業団地
//	●大膳町
//	●近森病院
//	●天神橋通り
//	●ナンコクスーパー高須
//	●ナンコクスーパー・ハイパー大津
//	●日赤病院
//	●パワーセンター
//	●ひろめ市場
//	●フジグラン葛島
//	●フジグラン高知
//	●ベスト電器朝倉
//	●毎日屋あさくらセンター
//	●毎日屋さんばし店
//	●マルナカー一宮
//	●マルニ高知
//	●マルニ二十津店
東洋町	●野根
室戸市	●サンシャイン室戸
//	●スリーエフ室戸
//	●羽根
//	●室戸岬
奈半利町	●マルナカ奈半利
田野町	●サンシャイン田野
安芸市	●安芸市役所
//	●県立安芸病院
//	●サンシャインランド
芸西村	●サンシャイン芸西
香南市	●香我美町
//	●フジグラン野市
//	●マルナカ赤岡
//	●夜須
南国市	●旭食品流通センター
//	●オルタステクノロジー高知
//	●高知空港
//	●高知大学病院
//	●サニーアクシス南国
//	●サンシャインカルディア
//	●ナンコクスーパーバステ
//	●マルナカ南国
香美市	●香美市役所

所在地	設置場所
香美市	●高知工科大学
//	●西本町
//	●パリュエ山田
大豊町	●大豊町役場
本山町	●本山
//	●嶺北中央病院
土佐町	●末広ショッピングセンター
いの町	●吾北
//	●サニーアクシスいの
//	●サニーマーケット伊野
//	●サンシャインラヴィーナ
//	●サンブラザ天王ニュータウン
土佐市	●サニーマーケット高岡
//	●サンシャインオリビオ
//	●土佐市民病院
//	●土佐ショッピングセンター
//	●ベイハロー
//	●マルナカ土佐
日高村	●サンシャイン日高
佐川町	●サンシャイン佐川
//	●サンブラザ佐川
越知町	●サンブラザ越知
須崎市	●大間ショッピングセンター
//	●フジ須崎
梶原町	●梶原町総合庁舎
四万十町	●サンシャイン四万十
黒潮町	●サンシャイン大方
四万十市	●アピアさつき
//	●サニーマーケット四万十
//	●四万十ショッピングガーデン
//	●フジグラン四万十
//	●フジ中村
土佐清水市	●サニーマーケット清水
//	●土佐清水市役所
宿毛市	●エヴィ宿毛
//	●宿毛市役所
//	●幡多けんみん病院
//	●パルティ・フジ宿毛
徳島県三好市	●サンシャイン池田



THE BANK OF KOCHI, LTD.

〒780-0834 高知市堺町2番24号

電話 (088) 822-9311

<http://www.kochi-bank.co.jp/>

